#5

杉錦 エドノナツザケのご案内



2024年5月

杉井酒造 〒426-0033

静岡県藤枝市小石川町 4-6-4

TEL: 054-641-0606 FAX: 054-644-2447

いつもありがとうございます。今年の夏のお酒として「杉錦 エドノナツザケ」を発売いたします。例年 販売している夏の純米吟醸につきましては品薄のため、お休みいたします。

夏の暑さを和らげてくれるようなお酒です。爽やかな酸味が特徴的なりんご様のフレッシュな香りがあります。食中酒として甘すぎないように造りました。、前菜、生さくらえび、生しらすと一緒に楽しむのがオススメです。

皆様のおかげで、この商品は4年目になりました。醪では酵母菌の発酵力が強いと辛くなりすぎ、弱すぎると甘くなりすぎます。28 号酵母は通常の協会酵母と比べて醗酵力が弱く、当初は甘味と酸味のバランスを取るのに苦労していました。しかし今年は経験の蓄積もあってほぼ理想通りに造る事ができ、目標とした去年の日本酒度、酸度とほぼ同程度に発酵を進める事ができました。

酵母の種類の違い

日本醸造協会が配布するリンゴ酸多生産酵母には二種類あります。

28 号…リンゴ酸が有機酸のうちの 80%を占める。コハク酸が少ない(7 号の 2/3)。香味は 7 号と同じ。 77 号…リンゴ酸が有機酸のうちの 70%を占める。コハク酸が少ない(7 号の 1/2)。カプロン酸エチルが多いエドノナツザケは食中酒を目指したため、香りの立ち過ぎない 28 号酵母を使用しました。

(リンゴ酸、コハク酸については裏面に)



| 風味 | 日本酒度 | -8.5 | |
|-----|--------|--------|--|
| | 酸度 | 3.2 | |
| | アルコール% | 14~15 | |
| | アミノ酸 | 1.7 | |
| | 香り | りんご | |
| 造り方 | 醸造年度 | 2023BY | |
| | 原料米 | 令和誉富士 | |
| | 精米歩合 | 70% | |
| | 使用酵母 | 協会28号 | |
| | 酛立て | 速醸 | |
| | 洗米方法 | 小型洗米機 | |
| | 麹 | 箱麹 | |
| | 上槽方法 | 槽 | |
| | 火入れ | 一回火入れ | |
| | 貯蔵 | 冷蔵 | |
| 飲み方 | 温度冷酒 | | |

日本酒の酸について

日本酒のラベルにはよく酸度という表記があります。日本酒度や製法がほぼ同じ場合、酸度が高い方が酸っぱく感じます。しかしながら、お酢の酸っぱさとオレンジジュースの酸っぱさが違うように、日本酒の酸味にも色々と種類があり、約 40 種類の酸が含まれております。その内コハク酸、乳酸、リンゴ酸だけで全体の 8 割を占めます。それに加えてクエン酸、酢酸の二つを知れば、日本酒の酸っぱさを理解する事ができます。エドノナツザケを含む、下記のような特殊な製法を取った日本酒は、酸の構成比が変わります。

是非、リンゴやレモン、ヨーグルトを片手に、酸に注目して日本酒を楽しんでみてください。

| | 7号酵母の 酒の割合※ | 清酒で多いとどうなるか? | 多量に含むもの | 多量に含む弊社の酒 ()内は酸度 |
|--------|----------------|-----------------|-------------------------------------|------------------------------|
| コハク酸 | 37~43% | コク、旨味、押し味、長い余韻 | 醤油、味噌、インスタントラーメン、ハム | |
| 乳酸 20~ | 20~33% | 渋味がありつつ、穏やかな酸味、 | ヨーグルト、菩提酛のそやし水 | 天保13年(2.6) |
| | 20~33% | 燗向け | マロラクティック発酵したワイン | 菩提酛誉富士(1.5) |
| リンゴ酸 | 17~28% | すっきり、後味の軽い | リンゴ、ぶどう 寒冷地のマロラクティック発酵していないワイン | エドノナツザケ(3.2) |
| クエン酸 | 5~10% | 爽快な酸味、苦味 | レモン、オレンジ、梅干し、スポーツドリンク、 典型的な焼酎、白麹 | エドノハルザケ(2.9) エドノナツザケ(2.9) |
| 酢酸 | 1~14% | 風味が悪いと感じる | お酢、野生酵母が混入した酒 健全な発酵が行われなかった酒 | 秘蔵酒428号(5.0) |

※上記の5種類の酸における割合。複数の文献を元に作成。

日本酒と同様に製法にもよるが、ワインの主な酸は酒石酸、リンゴ酸、クエン酸。

エドノナツザケについて

日本酒中の酸の内、80%が酵母菌によって生み出され、10%が乳酸菌、10%が麹と米由来と言われています。リンゴ酸多生産酵母である 28 号酵母を使うと、おおよそ 60%ぐらいがリンゴ酸となり、コクを出すコハク酸が減る事もあり、爽やかな味わいとなります。

エドノハルザケ、エドノアキザケについて

白麹を発酵の途中で投入する事で酸を増やしています。投入する前後を比較するとおおよそ 50%がクエン酸だと考えられます。

天保十三年について

天保十三年は酒母の大きさを倍にしているため、乳酸が通常の倍近く含まれていると考えられ、酸がありつつも穏やかで燗向けの酒質になっています。